理工学研究所•研究開発機構研究発表会

Annual Joint Meeting of ISE and RDI of CHUO UNIV.

日	時	2022年12月2日(金)14:30~18:20		
共	催	崔 中央大学理工学研究所·中央大学研究開発機構		
発表方法		Webex Meetings によるオンラインセッション		
参	加	参加無料。学内外者ともにURLへご自由にお入りいただけます。		
問合	せ先	中央大学研究支援室 TEL(03)3817-1602 · 1678 / FAX(03)3817-1677		

◇14:30 ご挨拶		◇18:15 ご挨拶	
◆理工学研究所長 鎖	鎌倉 稔成	◆理工学研究科委員長	梅田 和昇
◆研究開発機構長 7	石井 洋一		

● 共同研究第1類

	研究代表者	所属	研究テーマ
1	早川 健	精密	微生物模倣型ソフトマイクロロボットの創成
2	片山 建二	応化	混合物のスペクトルデータのみから物質と濃度の推定
3	福澤 信一	応化	生命科学分野での応用を志向した、ポリスルフィド類の合成基盤の整備
4	加藤 俊一	DS	感性と行動文脈の多様性の下での QOL 向上のための感性情報基盤技術の開発
5	5 福井 彰雅 生命 両生類原腸胚のシングルセルトランスクリプトーム・3D マッピング		両生類原腸胚のシングルセルトランスクリプトーム・3D マッピング

● 共同研究第2類

	研究代表者	所属	研究テーマ	
6	中村 太郎	精密	蠕動運動ポンプの効率的な制御手法に関する基礎的研究	
7	新妻実保子 精密 ロボットとのマルチモーダルインタラクションにおける聴覚能力の及ぼす影響		ロボットとのマルチモーダルインタラクションにおける聴覚能力の及ぼす影響	
8	松本 浩二	精密	水道水を使用したオゾンマイクロバブル含有氷連続製造研究	
9	國井 康晴	電気	自律軌道補正による計画軌道の実環境適応と長寿命化および移動プラットフォーム化の検討	
10	橋本 秀紀	電気	マルチモーダル次世代モビリティ支援に関する研究	
11	小松 晃之	応化	ハイブリッド型人工酸素運搬体の開発と安全性・有効性評価	

● プロジェクト研究

	研究代表者	所属	研究テーマ
1	西岡 英俊	都市	ベトナム国における気候変動による河川及び沿岸域を含む河川・水環境の改善に関する研究

● 研究開発機構

	研究代表者	研究テーマ	ユニット責任者	
1	久徳 康史	日常的PTEに対する being の維持に向けて:安心して働くことができる成果評価法と介入策の検証	檀 一平太	
2	後藤 勝洋	多摩川中流部における洪水流と河川改修による河道の長期的変化と治水·河川環境の 整備に関する研究		
3	後藤 岳久	非平衡流砂運動に基づく掃流砂・浮遊砂の一体解析の開発と昭和56年8月石狩川洪水への適用	福岡 捷二	
4	髙鍬 裕也	水流中を跳躍運動する非球形石礫の形状指標の評価に関する研究		
5	竹村 吉晴	洪水流と波浪の相互作用を考慮した阿賀野川河口域の流れと地形変化の解析		
6	西濵 里英	MR 流体ブレーキを用いた下肢外骨格型力覚提示装置の開発 ーサッカーキックの力覚提示ー	中村 太郎	
7	辻井 重男	三止揚—MELT-Up(Management,Ethics,Law and Technology)		
8	山澤 昌夫	デジタル通貨, ブロックチェーン, loT, 認証	趙晋輝	
9	古米 弘明	河口沿岸域水質モデル計算を用いたお台場海水浴予報システムの開発	山村 寛	
10	Park, Kyu-Hyun	ark, Kyu-Hyun 水田を含む都市郊外部における降雨流出モデルのパラメータ感度解析		
11	笠井 由紀	微細藻類パラクロレラの遺伝子導入法の開発とゲノム編集による高油脂蓄積株の作製	小池 裕幸	

2021年度に理工学研究所で行われた共同研究・プロジェクト研究および研究開発機構の研究発表です。RA研究発表会も同時開催いたします。お気軽に会場までお越し下さい。